



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社

上場取引所

東

コード番号 9360

URL <http://www.shinwart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 徳田康行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 足洗俊之

(TEL) 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 6,518 | △6.4 | △72 | — | △55 | — | △33 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 6,966 | 2.0 | 80 | — | 97 | — | 15 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △24百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 4百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | △11.37 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 5.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 9,899 | 2,347 | 23.7 | 797.97 |
| 2020年3月期 | 10,584 | 2,408 | 22.8 | 818.67 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,347百万円 2020年3月期 2,408百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 12.50 | 12.50 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 12.50 | 12.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 2.4 | 390 | 20.8 | 410 | 11.2 | 300 | 86.9 | 101.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2021年3月期2Q | 3,000,000株 | 2020年3月期 | 3,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 57,970株 | 2020年3月期 | 57,950株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2021年3月期2Q | 2,942,039株 | 2020年3月期2Q | 2,942,053株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いているものの、緊急事態宣言の解除後は経済活動の再開により緩やかな改善が進み、先行きの持ち直しが期待されます。

当社グループの主力である情報サービス事業の業界においては、今後のウィズ／アフターコロナ社会に対応していく為に、企業に限らず行政からもITを活用したサービスやソリューションへの需要が急速に高まっております。また、デジタル技術の活用による業務プロセス変革といったデジタルトランスフォーメーションへの取り組みも加速しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は65億18百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業損失は72百万円（前年同四半期は80百万円の利益）、経常損失は55百万円（前年同四半期は97百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は33百万円（前年同四半期は15百万円の利益）となりました。

当社グループ内においては、このような環境変化を踏まえ、顧客と社員の安全確保を第一に、Web会議システムによる社内外とのコミュニケーションの実施やテレワーク・時差出勤などの柔軟な働き方を積極的に取り入れ、そこで得たノウハウなども顧客へのサービスやソリューションへ反映させるべく事業を推進しております。

なお、当社グループへの新型コロナウイルス感染症による影響としては、一部の顧客において投資の先送りや抑制などがあつた他、一部の案件においては緊急事態宣言下での対面営業活動の制限による影響で商談のクロージングに時間を要したため、納期について当初予定していた時期から第3四半期連結会計期間以降に延期されておりますが、当第2四半期連結累計期間の業績に与える影響は軽微であります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、ソフトウェア受託開発は堅調に推移したものの、前年度より収益構造改革として要員シフトも含めたビジネス展開に注力しているパッケージソリューションサービスにおいて、納期が当初予定していた時期から第3四半期連結会計期間以降に延期された影響等が相俟って、情報サービス事業全体としては減収となりました。

なお、納期の延期による当該影響は第3四半期連結累計期間中に解消される見込みであり、仕掛品残高は増加しております。

以上の結果、売上高は49億50百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

セグメント利益は、特に収益性の高いパッケージソリューションサービスにおいて、上述の理由による減収となったため、情報サービス事業全体としては前年同四半期比で減益となりました。

以上の結果、3億50百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。

なお、情報サービス事業における新型コロナウイルス感染症の影響については、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。

②物流事業

売上高は、倉庫事業については、飲食業界が低調だった影響で主に業務用食品等の扱いが減少し、荷役作業を伴うスポット貨物の獲得を進めましたが、減収となりました。港運事業については、建材埠頭の既存荷主の取扱数量が減少しましたが、港湾元請業務が拡大したこと等により、前年同四半期と同じ水準となりました。陸運事業については、小麦粉輸送の貨物量が若干増加したことに加え、セメント輸送が復調したため、増収となりました。

以上の結果、売上高は15億68百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

セグメント利益は、倉庫事業については、飲食業界が低調だった影響により、作業・配送とも振るわずに減益となりました。港運事業については、荷動きが鈍化しているものの、元請業務の拡大等の影響で増益となりました。陸運事業については、自社車両の稼働率が増加したことに加え、受託作業等を確保できた影響で増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は2億51百万円（前年同四半期比60.4%増）となりました。

なお、物流事業における新型コロナウイルス感染症の影響についても、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8億24百万円減少し、32億65百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少2億51百万円と受取手形及び売掛金の減少8億26百万円、仕掛品の増加2億23百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億38百万円増加し、66億32百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少87百万円と投資有価証券の増加1億16百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6億85百万円減少し、98億99百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億33百万円減少し、36億8百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1億30百万円と短期借入金の増加1億87百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4億91百万円減少し、39億43百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少5億35百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、23億47百万円となりました。これは主として、剰余金の配当と親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少70百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には10億78百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億30百万円(前連結会計年度に得られた資金は89百万円)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益損失30百万円、減価償却費2億92百万円、売上債権の減少8億26百万円、たな卸資産の増加2億23百万円及び仕入債務の減少1億30百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億1百万円(前連結会計年度に使用した資金は1億27百万円)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出70百万円、無形固定資産の取得による支出59百万円及び投資有価証券の取得による支出1億1百万円、投資有価証券の売却による収入29百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億80百万円(前連結会計年度に使用した資金は4億21百万円)となりました。

これは主に、短期借入金の純増額3億円及び長期借入金の返済による支出6億47百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、今後の業績動向に応じて連結業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,330 | 1,078 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,370 | 1,543 |
| 仕掛品 | 191 | 415 |
| その他 | 199 | 227 |
| 貸倒引当金 | △2 | △0 |
| 流動資産合計 | 4,089 | 3,265 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,156 | 1,068 |
| 土地 | 2,489 | 2,489 |
| その他（純額） | 1,028 | 1,036 |
| 有形固定資産合計 | 4,674 | 4,595 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 305 | 376 |
| 投資有価証券 | 470 | 587 |
| 繰延税金資産 | 783 | 806 |
| その他 | 277 | 285 |
| 貸倒引当金 | △17 | △17 |
| 投資その他の資産合計 | 1,513 | 1,661 |
| 固定資産合計 | 6,493 | 6,632 |
| 繰延資産 | 1 | 0 |
| 資産合計 | 10,584 | 9,899 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 752 | 621 |
| 短期借入金 | 1,560 | 1,747 |
| リース債務 | 164 | 167 |
| 未払法人税等 | 172 | 51 |
| 賞与引当金 | 484 | 483 |
| 受注損失引当金 | 1 | 4 |
| その他 | 606 | 531 |
| 流動負債合計 | 3,741 | 3,608 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 90 | 69 |
| 長期借入金 | 1,773 | 1,238 |
| リース債務 | 349 | 375 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 171 | 171 |
| 役員退職慰労引当金 | 23 | 22 |
| 退職給付に係る負債 | 1,928 | 1,967 |
| その他 | 97 | 96 |
| 固定負債合計 | 4,434 | 3,943 |
| 負債合計 | 8,176 | 7,551 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 802 | 802 |
| 資本剰余金 | 162 | 162 |
| 利益剰余金 | 1,241 | 1,171 |
| 自己株式 | △37 | △37 |
| 株主資本合計 | 2,168 | 2,098 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25 | 33 |
| 土地再評価差額金 | 214 | 214 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △0 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 239 | 249 |
| 純資産合計 | 2,408 | 2,347 |
| 負債純資産合計 | 10,584 | 9,899 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 6,966 | 6,518 |
| 売上原価 | 5,873 | 5,499 |
| 売上総利益 | 1,092 | 1,018 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,012 | 1,091 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 80 | △72 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 5 | 5 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 8 |
| 経営指導料 | 8 | 8 |
| 受取賃貸料 | 9 | 9 |
| その他 | 2 | 8 |
| 営業外収益合計 | 40 | 40 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20 | 21 |
| その他 | 2 | 3 |
| 営業外費用合計 | 22 | 24 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 97 | △55 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 投資有価証券売却益 | 3 | 25 |
| 特別利益合計 | 3 | 25 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 0 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 101 | △30 |
| 法人税等 | 85 | 2 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 15 | △33 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 15 | △33 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 15 | △33 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △12 | 8 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | 1 |
| その他の包括利益合計 | △11 | 9 |
| 四半期包括利益 | 4 | △24 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4 | △24 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 101 | △30 |
| 減価償却費 | 289 | 292 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △0 | △2 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △5 |
| 支払利息 | 20 | 21 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △14 | △8 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 137 | 826 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △127 | △223 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △184 | △130 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 21 | △0 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △4 | △0 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 0 | 3 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 40 | 39 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △3 | △25 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △38 | △82 |
| その他 | △90 | △79 |
| 小計 | 143 | 594 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7 | 7 |
| 利息の支払額 | △20 | △21 |
| 法人税等の支払額 | △41 | △149 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 89 | 430 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △52 | △70 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △47 | △59 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △101 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3 | 29 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △30 | △0 |
| その他 | 0 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △127 | △201 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | 300 |
| 長期借入れによる収入 | 400 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △634 | △647 |
| 社債の償還による支出 | △69 | △21 |
| リース債務の返済による支出 | △82 | △73 |
| 配当金の支払額 | △36 | △38 |
| その他 | — | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △421 | △480 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △459 | △251 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,727 | 1,330 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,268 | 1,078 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|-------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 情報サービス 事業 | 物流事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,393 | 1,573 | 6,966 | — | 6,966 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1 | 2 | 3 | △3 | — |
| 計 | 5,395 | 1,575 | 6,970 | △3 | 6,966 |
| セグメント利益 | 494 | 156 | 651 | △570 | 80 |

(注)1 セグメント利益の調整額△570百万円は、セグメント間取引消去△100円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△0百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|-------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 情報サービス 事業 | 物流事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,950 | 1,568 | 6,518 | — | 6,518 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1 | 3 | 5 | △5 | — |
| 計 | 4,951 | 1,572 | 6,523 | △5 | 6,518 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 350 | 251 | 601 | △673 | △72 |

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△673百万円は、セグメント間取引消去100百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△683百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。